

寓話「水を求めて」



20230928



エリー



目次

イソップ物語	1
寓話「水を求めて」	2

イソップ物語

寓話の資料として、イソップ物語を買う。

「まちのねずみといなかのねずみ」が近いかも。

でも町で戦うことをすすめる内容だから、

「人生のいつとき、戦うことも必要である」

でいくか。

でも

誰のために？

なんのために？

が問われるよね。

誰は、

 自分を知るために

なにのためは、

 戦えない人を守るため

寓話「水を求めて」

森のなかで、犬と猫たちが暮らしていました。

村にない水を手に入れるため、誰かが森をでなくてはなりません。

勇敢な犬と猫が名乗り出て、旅に出ました。

川に着くと熊が鮭を取っていて、近づくことができません。

犬は言いました。

「俺が熊を呼び寄せから、君は水を持って村に帰れ」

「わかったわ」

犬が吠えると熊が追いかけてきます。

猫は川に近づき、皮袋いっぱいの水を汲んで逃げました。

村に着くとみんな大喜びです。

一緒に旅立った犬は帰ってきません。

取ってきた水は底をつきそうです。

けれども死を恐れて誰もいこうとしません。

このままではみんな死んでしまう。

「なにもせずに死ぬくらいならやってみよう」

若い犬と猫が名乗りを上げました。

かつて旅から戻った猫は、皮袋を渡します。

こうして皮袋は代々受け継がれ、若者の挑戦によって、みんな死なずに済みました。

寓話「水を求めて」20230928

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
